



平成27年2月13日(金)  
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所  
中日本高速道路株式会社 東京支社

## 記者発表資料

けんおうどう

さがみはら

# 圏央道 相模原ICが

# 3月29日(日) 12時に開通します。

国土交通省関東地方整備局相武国道事務所、中日本高速道路株式会社東京支社が整備を進めてきた「首都圏中央連絡自動車道 相模原IC(インターチェンジ)」が平成27年3月29日(日) 12時に開通し、相模原ICから圏央道が利用できるようになりますので、お知らせいたします。

【開通日時】平成27年3月29日(日) 12時

【開通箇所】首都圏中央連絡自動車道 相模原IC

### - 開通による主な効果 -

#### 効果① 国際競争力と成長～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。
- 相模原市では、産業集積促進条例(STEP50)を施行し、積極的な企業誘致に取り組むなど、地域産業活性化への期待が高まっています。

#### 効果② 地域経済の好循環 ～圏央道へのアクセス強化～

- 次々つながる圏央道により、神奈川-栃木・群馬間等の相互アクセスが大幅に向上。
- 相模原市内から圏央道へのアクセス強化が図られます。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ  
八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所  
TEL: 042-643-2001 (代表)  
副所長 さくま ひろゆき 佐久間 博之 計画課長 おおしま せいいち 大嶋 精一  
中日本高速道路(株) 東京支社 広報・CSチーム  
TEL: 03-5776-5257 (マスコミ専用)

# 圏央道開通箇所概要

○首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化・環境改善、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路で、現在までに約196kmが開通しています。

## ○今回開通箇所の概要

- ・路線名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
- ・開通箇所：相模原IC（相模原市緑区小倉<sup>みどりくおくら</sup>）
- ・対応道路：津久井広域道路（相模原ICと同時供用）
- ・開通日時：平成27年3月29日（日）12時

## ■今回開通箇所の平面図

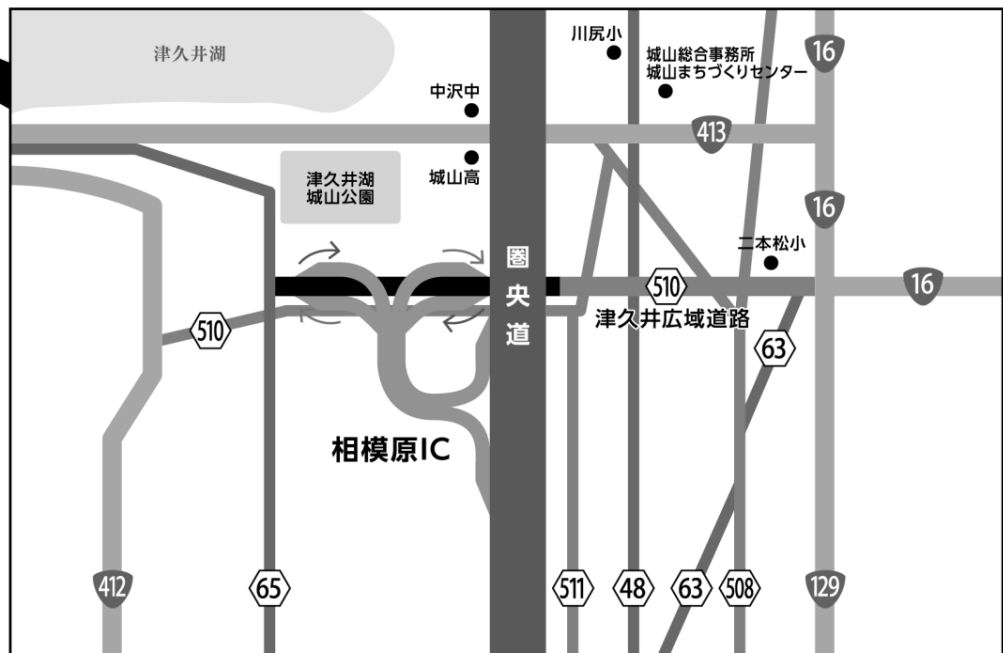


# 今回開通箇所状況

## ■今回開通箇所の状況



## ■今回開通箇所の周辺図



※アクセス道路の津久井広域道路(相模原市が事業中)も同時に開通予定です。

# 効果①：国際競争力と成長～民需の拡大～

- ・環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地するなど、民間の投資を喚起します。
- ・相模原市では、産業集積促進条例（STEP50）を施行し、積極的な企業誘致に取り組むなど、地域産業活性化への期待が高まっています。

## ■物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

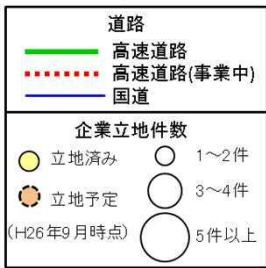
### 【圏央道の早期に開通した区間】

・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

市町村名	H21	→	H24	(H24/H21)
日高市	1,271	→	1,579	1.24
入間市	2,823	→	3,872	1.37
羽村市	3,823	→	6,350	1.66
日の出町	529	→	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	→	203,373	1.03

出典：工業統計調査

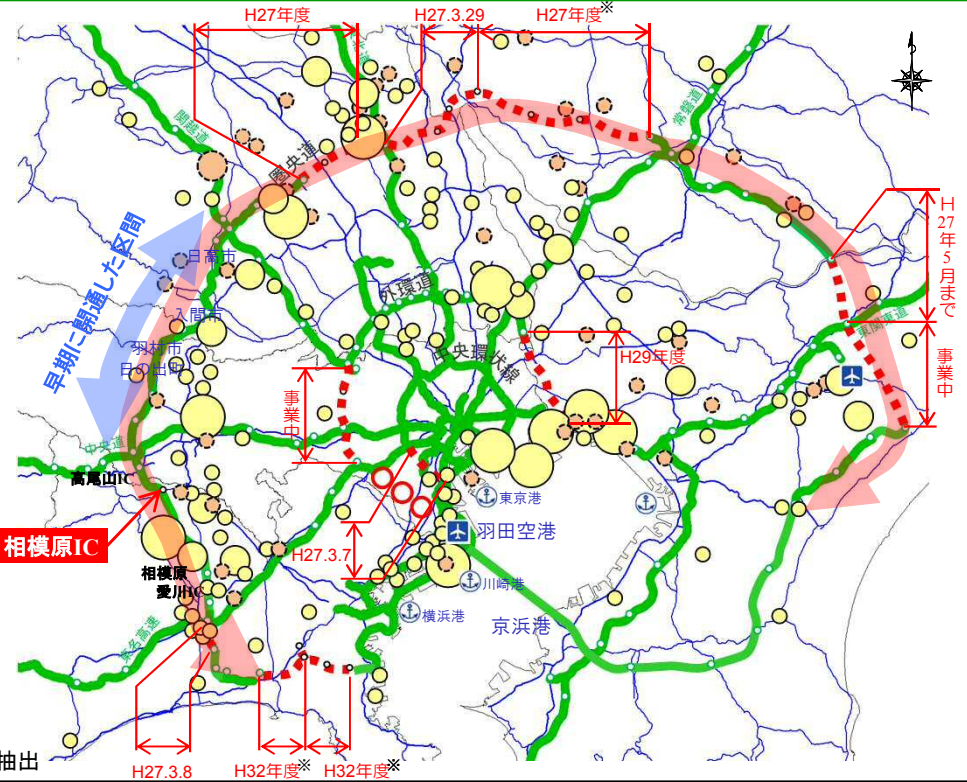
### 凡例



※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地買収が速やかに完了する場合

出典)国土交通省調べ

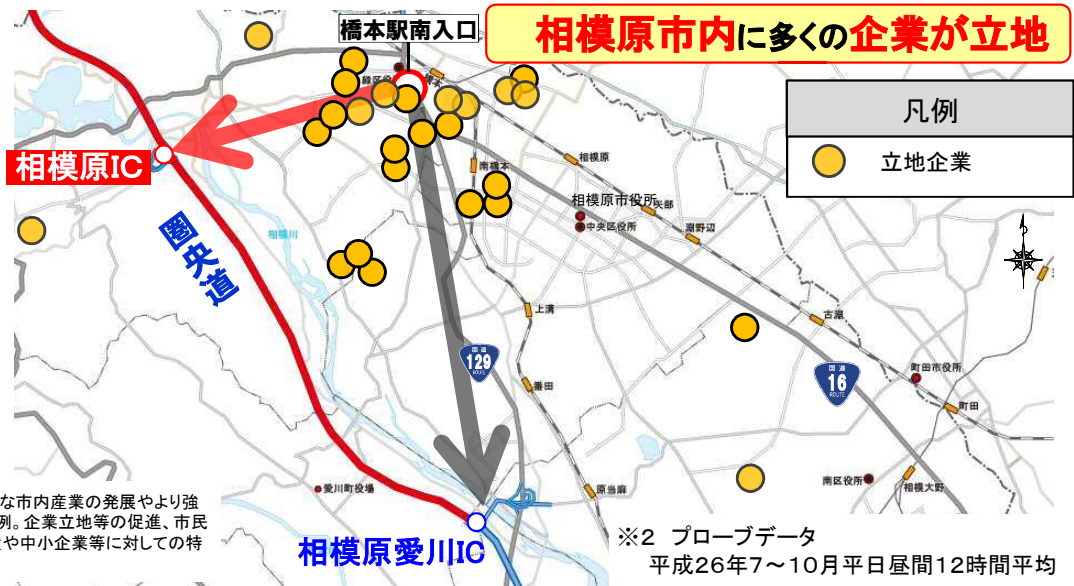
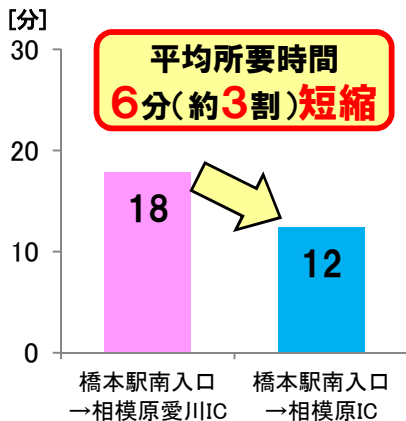
平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出



## ■相模原市内の立地企業※1の進出

※1：立地企業：産業集積促進条例（STEP50）にて平成22年度以降に認定された企業

### <ICアクセス時間※2の変化>



※産業集積促進条例（STEP50）とは、将来にわたる持続的な市内産業の発展やより強固な産業集積基盤の形成をめざし施行された相模原市条例。企業立地等の促進、市民の雇用機会の創出及び拡大を図るための様々な奨励措置や中小企業等に対する特別融資制度がある。

## ■企業の声



圏央道相模原愛川IC～高尾山ICの整備や相模原IC等の整備が立地を決めた要因の1つである。圏央道の利用により、都心部を通過せず、埼玉方面への配送も可能となり、また中央道・東名道の双方を利用できる点で物流企業に好評をいただいている。

平成27年1月14日(水)ヒアリング調査

# 効果②：地域経済の好循環～圏央道へのアクセス強化～

- ・次々つながる圏央道により、神奈川～群馬・栃木間の相互アクセスが大幅に向上。
- ・相模原市内や多摩地域等から圏央道へのアクセス強化が図られます。

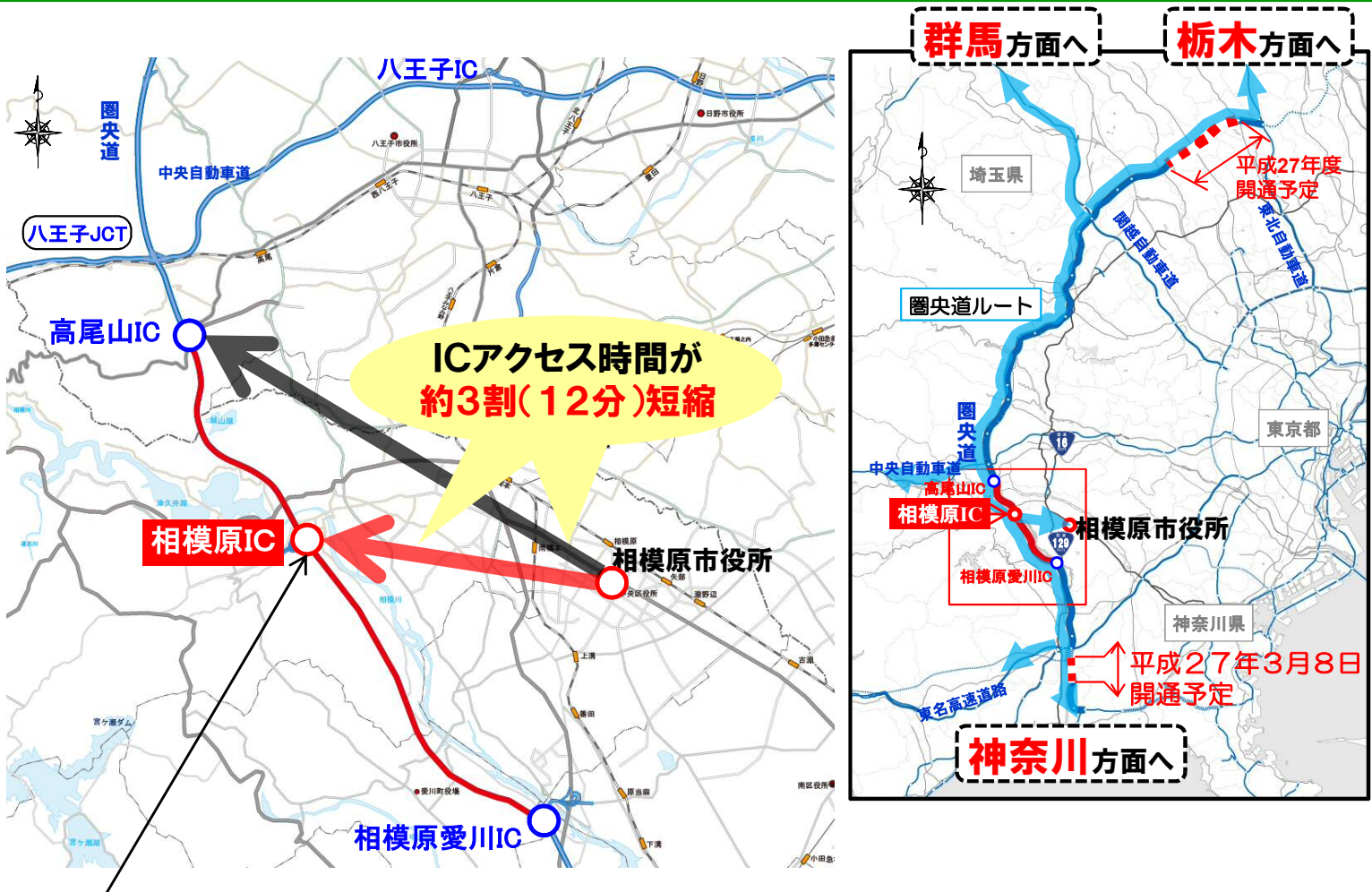
## ■企業の声



現在は、行き先に応じて高尾山IC、相模原愛川IC（いずれも20分ほど）を使い分けている。  
相模原ICができれば、2分程度で高速にアクセスでき、劇的に物流が変わると思っている。

平成26年10月21日(火)ヒアリング調査

## ■圏央道へのアクセス強化

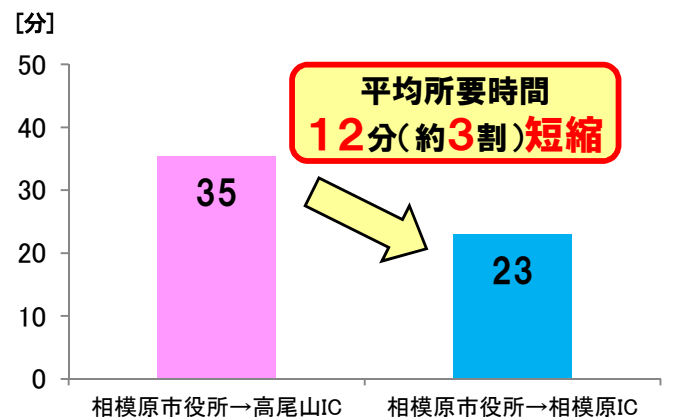


### <相模原ICの状況>



撮影：平成27年1月28日

### <ICアクセス時間※1の変化>



※1 プローブデータ 平成26年7～10月平日昼間12時間平均

# 今回開通箇所等の料金

## 相模原 I C から主要 I C までの料金表

< 通常 (深夜を除く) の料金 (ETC) >

単位 (円)

区 間		路線	距離 (km)	軽自動車	普通車	中型車	大型車	特大車
相模原	桶川北本	圏央道	61.4	1,510	1,900	2,270	3,130	5,210
相模原	高尾山	圏央道	5.9	200	250	310	420	700
相模原	相模原愛川	圏央道	8.9	310	380	460	630	1,060
相模原	東京	圏央道⇄東名	54.8	1,590	1,970	2,360	3,250	5,410
相模原	厚木	圏央道⇄東名	22.0	750	930	1,110	1,520	2,540
相模原	八王子	圏央道⇄中央道	18.1	350	470	600	870	1,550

< 深夜 (0時~4時) の料金 (ETC) >

単位 (円)

区 間		路線	距離 (km)	軽自動車	普通車	中型車	大型車	特大車
相模原	桶川北本	圏央道	61.4	1,350	1,690	2,020	2,790	4,640
相模原	高尾山	圏央道	5.9	140	180	220	290	490
相模原	相模原愛川	圏央道	8.9	220	270	320	440	740
相模原	東京	圏央道⇄東名	54.8	1,220	1,480	1,760	2,390	3,890
相模原	厚木	圏央道⇄東名	22.0	630	750	890	1,170	1,880
相模原	八王子	圏央道⇄中央道	18.1	350	470	600	820	1,300

※上記は主要 I C 間の料金 (ETC) のみを表示しています。  
 上記以外の I C 間の料金や割引後の料金、現金車の料金については  
 中日本高速道路(株)ホームページ (HP) などで改めてお知らせいたします。

※各種割引の適用条件等の詳細については、HP をご確認ください。